

公立学校情報機器整備事業に係る各種計画

令和7年3月

千曲市教育委員会

【千曲市】 端末整備・更新計画

2025年3月

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数(人)	4200	4182	4163	4121	4023
② 予備機を含む 整備上限台数(台)	4830	4809	4787	3161	-62
③ 整備台数(予備機除く)(台)	0	0	1373	2706	0
④ ③のうち 基金事業によるもの	0	0	1373	2706	0
⑤ 累積更新率	0%	0%	33%	99%	101%
⑥ 予備機整備台数	0	0	205	405	0
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	0	0	205	405	0
⑧ 予備機整備率			15%	15%	

※①～⑧は未到来年度等にあつては推定値を記入する

端末の整備・更新の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想第1期において、千曲市では令和3年度に端末4,532台を整備した。端末の使用期間が5年を経過する令和8年度以降に更新を行う。 ・現在使用している端末を最大限活用し、また作業負担および端末更新時期の平準化のため、令和8年度に中学校、令和9年度に小学校の端末更新を行う。
更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について	<ul style="list-style-type: none"> ○対象台数:4,532台 ○処分方法 <ul style="list-style-type: none"> ・使用済端末で状態の良いものを教職員用端末や児童生徒の予備機として再利用 :1,000台 ・小型家電リサイクル法の認定事業者にて再使用・再資源化を委託 :3,532台 ○端末のデータの消去方法 <ul style="list-style-type: none"> ・処分事業者へ委託する ○スケジュール(予定) <ul style="list-style-type: none"> 令和8年8月 新規購入端末の使用開始(中学校) 令和8年10月 処分事業者 選定 令和8年12月 使用済端末(中学校分)の事業者への引き渡し 令和9年8月 新規購入端末の使用開始(小学校) 令和9年10月 使用済端末(小学校分)の事業者への引き渡し ○その他特記事項 <ul style="list-style-type: none"> 端末の処分については、「Google for Education GIGA スクール パッケージ」のリサイクルサポートによる無償回収・処分を想定。
「⑤累積更新率」が令和10年度までに100%に達しない場合は、その理由	

【千曲市】 ネットワーク整備計画

2025年3月

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①十分なネットワーク速度が確保できている学校の割合(%)	100%	100%	100%	100%	100%
②簡易アセスメントの実施計画	・市教委による簡易測定 ・教職員へのアンケート ・学校訪問時のヒヤリング	⇒ 次年度以降も適宜実施	⇒	⇒	⇒
③アセスメントの実施計画	-	小中1校ずつ2校で実施	-	-	-
簡易アセスメントによって課題が明らかとなった場合の対策	<p>令和6年度に市教委が簡易アセスメントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教委が現地で通信速度測定を行い、市内13校すべてにおいて当面の推奨帯域を満たしていることを確認した。 ・学校アンケートにより、アクセスポイントが現在設置されていない教室への設置希望を取りまとめた。 <p>⇒当面の推奨帯域は満たしているが、ネットワークの課題を洗い出すために、令和7年度中に小中1校ずつ2校で専門業者によるアセスメントを実施予定。</p>				
アセスメントによって課題が明らかとなった場合の対策	<p>令和7年度のアセスメントの結果を受け、令和8年度に以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを実施した2校以外の11校も同じネットワーク構造であるため、アセスメントにより明らかとなった課題の対策を全学校に適用する。 ・アクセスポイントの設置希望のあった教室へ追加配備する。 				
アセスメントを実施しない例外的な事情(ある場合)					

【千曲市】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	7%	100%	100%	100%	100%
	不合理な手入力作業の一扫に取り組んだ学校の割合	69%	100%	100%	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	0%	60%	100%	100%	100%
選択項目	11.児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している学校の割合	30%	60%	100%	100%	100%
	28.長期休暇期間(夏休み等)の教職員の動静調査をクラウドサービスを用いて実施・管理している学校の割合	15%	100%	100%	100%	100%
	34.「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用している学校の割合	0%	50%	75%	100%	100%
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	<ul style="list-style-type: none"> ・対外機関との合意形成(FAXの利用、押印の必要性、各種データ様式の統一など) ・教職員の日常的な業務の多忙化により、研修機会を確保することの難しさ 				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・校務DXの推進について対外機関への理解を求めするための支援を行う ・学校の状況に合わせた多様な形態での研修会の実施(オンライン、オンデマンドなど) 				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	<p>現状では校務系ネットワークは各校ごと分離している。校務DXを推進するために、校務系ネットワークを市内統一したネットワークにしていく必要があると考える。</p> <p>令和6年度に校務系端末の更新を実施しているため、次の更新時期である令和11年度にはゼロトラストが実現できるよう徐々に移行していく。</p>				

【千曲市】 1人1台端末の利活用に係る計画

2025年3月

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	子どもが自ら問いを持ち、自ら学び方を選択し学びを深め、友と協働して学びあう個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実践。
②GIGA第1期の総括	端末整備は完了し、通信速度も簡易検査で十分な値を示している。授業で端末を週3回以上の利用する学校が8割程度になり、調べる、まとめる、交流するなどの場面で活用している。小学校ではプログラミング学習を総合的な学習の時間に行っている。しかし、同時共同編集の経験、活用場面や活用方法を自ら選ぶ経験、情報活用能力の育成を意識した意図的な学びの実践が少ない。今後授業改善を柱とした研修会を市教委専門主事を中心に計画実施する。
③1人1台端末の利活用方策	<p>【1人1台端末の活用】 「同時共同編集による他者参照や意見交換、端末の児童生徒の判断で活用、活用方法を自ら選ぶ学び方」をこれまでの学び方と適切に混在させた実践を行う。教師が情報活用能力の育成を意識した意図的な学びを仕組む。</p> <p>【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 各教科等の資質能力を育成する目的を軸に、教師が意図的に個別最適・協働的な学びを単元内や1時間の授業に盛り込むことが大切。その際に端末の利用を前提により効果的な活用を行う。</p> <p>【学びの保障(臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒)】 市内にある全ての教育支援センターで端末を活用できるよう、ネットワーク環境を整備する。クラウドを活用し、児童生徒の困り感を一早く把握できるシステムを活用する。また、希望する児童生徒がオンラインで各種児童生徒支援者と相談できる環境を整える。</p> <p>【研修会】 上記の方策を実現するために、市教委が環境整備を行い、専門主事による各種研修会を実施する。</p>